## 活動報告

## 2002年10月－12月
## 順不同、一部敬称略

### ●著　書●

**野村美明教授**「第二条　外国人の権利能力」谷口知平・石田喜久夫編『新版 注釈民法 第一巻　[改訂版]』11月(分担執筆)

**黒澤満教授**「第13章　軍縮」大沼保昭編著『資料で読み解く国際法』(第2版) 東信堂、1月 (分担執筆)

**辻正次教授**“A Comparative Analysis of International Distance Learning: ISDN VS. The Internet,”*Advancing Online Learning in Asia*, Open University of Hong kong Press, Hong Kong, Dec.(共著)

「ITと遠隔医療・在宅ケア:システムと経済評価」『IT革命はまぼろしか？』内閣府経済社会総合研究所編、内閣府、12月(共著)

**橋本介三教授**『中国の開放経済と日本企業』大阪大学出版会、12月 (編著)

**山内直人教授**『NPOの時代』(大阪大学新世紀セミナー)、大阪大学出版会、12月

「社会福祉の担い手としてのNPO」齊藤慎・山本栄一・一圓光彌(編)『福祉財政論:福祉政策の課題と将来構想』有斐閣、10月

**今川拓郎助教授**「資産の拘束は長期停滞を説明できるか」原田泰・岩田規久男編著『デフレ不況の実証分析―日本経済の停滞と再生』東洋経済新報社、10月

**星野俊也助教授**「『新しい戦争』時代の安全保障 - いま日本の外交力が問われている」都市出版、11月 (共著)

**松繁寿和助教授**　橋本介三編『中国の開放経済と日本企業』(第8、9、10章) 大阪大学出版会、12月 (分担執筆)

**Robert D. Eldridge助教授**「米国の安全保障戦略と米日中関係―安定措置かつ関与者として―」ベンジャミン・L・セルフとジェフリー・W・トムソン(編)『日米同盟と中国―建設的安全保障関係へ』

「小笠原と日米関係、１９４５－１９６８」ダニエル・ロング(編)『小笠原学ことはじめ』

### ●論　文●

**黒澤満教授**“Curbing Nuclear Proliferation: Japanese, G8, and Global Approaches,”John J. Kirton and Junichi Takase (eds.), *New Directions in Global Political Govenmance*, Ashgate, Nov.

「戦略攻撃力削減条約の内容と意義」『阪大法学』52巻3・4号、11月

**高阪章教授**“Monetary Transmissions Immediately after the Crisis in East Asia,”Paper presented at the 8th International Convention of the East Asian Economic Association, Kuala Lumpur, Malaysia, 11月4日 (co-authored with Masahiro Enya)

“Whither Japanese Economy? Economic Reform in Japan and Its Impact on Regional Economic Cooperation,”Paper presented at the International Conference on“Turning Crises into Opportunities: Some East Asian Policy Perspectives on Regional Issues”sponsored by the Japan Foundation, the Yuchengco Center and the International Studies Department of De La Salle University, 11月

**辻正次教授**“Innovation and Technology Transfer of the Japanese Machine Tool Industry,”*Proceedings of 1st International Conference on Business and Management Transfer*, Oct.

“An Economic Assessment of Tele-health: The WTP Approach,”*Proceedings of APT Conference on Mobile Communication Technology for Telemedicine and Triage*, Oct.(共著)

“Innovation and Technological Management of the Japanese Telecare and Telehealth Industry,”*Proceedings of 3rd International Symposium on Management of technology and Innovation*, Oct.(共著)

「医療技術評価に対するCVM(Contingent Valuation Method)の適用可能性:サーベイ・データによるWTPとWTAの乖離要因の分析」『医療と社会』Vol.12 No.2,10月 (共著)

「WTPによる便益評価と便益・費用分析」『医療とコンピュータ』11月 (共著)

「CVMによる便益評価と費用負担分析:香川県旧寒川町(現さぬき市)の在宅健康管理システム」『第22回医療情報学連合大会論文集』、11月 (共著)

「在宅医療とIT:在宅ケアの定着に向けて」『癌と化学療法』、12月 (共著)

**床谷文雄教授**「生殖医療・生命倫理・親子法―スイス法をてがかりとして」『阪大法学』52巻3・4号、11月

**野村美明教授**「日米裁判管轄法理の比較枠組み」『阪大法学』11月

「外国にある日本人の遺産処理―外国の銀行預金―」『判例タイムズ』臨時増刊号『家事関係裁判例と実務245題』11月

「債権流動化と国際私法―立法試案」多胡圭一編『大阪大学法学部創立五〇周年論文集』12月

**橋本介三教授**「産業廃棄物のリサイクル事業と外部効果の推計　―関西電力のエコレンガ事業の事例を中心に―」Discussion Papers in Economics and Business(02-19), *Graduate School of International Public Policy*, Osaka University, 11月

**山内直人教授**「GEMを用いたジェンダーの国際比較とその問題点」Discussion Paper in Economics and Business No. 02-18, *Graduate School of Economics and Osaka School of International Public Policy*, Osaka University. Oct.(金谷信子と共著)

「GEMを用いたジェンダーの国際比較とその問題点」『男女共同参画調査国際比較調査研究報告書―イギリス、ドイツ、スウェーデン』内閣府男女共同参画局、10月(金谷信子と共著)

**今川拓郎助教授**「情報通信と経済成長」『経済セミナー』2002年10～12月号 (連載)

**木戸衛一助教授**“10 Jahre deutsche Einheit im Spiegel der japanischen Presse”, *Icarus*, Sept.

“Die japanischen Nobelpreistrager und die Friedensfrage”, *Krieg und Literatur*, 2002

**松繁寿和助教授**「医薬品産業における人事処遇施策の導入過程」『医療と社会』Vol.2 No.3、12月 (梅崎修と共同執筆)

「社会科学系大卒者の英語能力と経済的地位」『教育社会学研究』第71集、10月

「役員の学歴とキャリアにおける専門性」『大阪大学経済学』52巻3号、12月 (柿澤寿信、松繁寿和、湯浅安由里、片倉絢子、中谷常二と共同執筆)

**佐渡紀子助手**「人間の安全保障と信頼醸成措置の接点:デイトン合意後の取り組みから」『平和研究』第27号、11月

**湯浅安由里(M2)**「役員の学歴とキャリアにおける専門性」(松繁寿和助教授、柿澤寿信、松繁寿和、湯浅安由里、片倉絢子、中谷常二と共同執筆)『大阪大学経済学』52巻3号、12月

### ●その他●

**黒澤満教授**　杉江栄一著「核兵器廃絶への道」『平和研究』第27号、11月 (書評)

「軍縮・平和」『ｉｍｉｄａｓ２００３』集英社、11月

「国連軍縮大阪会議に向けて」『大阪日日新聞』(「なにわ発OSIPP通信」)12月14日付

**辻正次教授**「エコンの風景:米国の失敗」『経済セミナー』10月

「エコンの風景:どこまで続く不良債権処理」『経済セミナー』11月

「エコンの風景:ベンチャー立ち上げで見えるもの」『経済セミナー』12月

**床谷文雄教授**「重婚的内縁の法律関係」、「重婚的内縁解消と慰謝料請求」『判例タイムズ』1100号、11月

**野村美明教授**「総合的法律力の源泉―アメリカ法律家協会年次総会―」『学術の動向』10月

「日本法の国際化―国際私法の観点から」『ジュリスト』、10月 (座談会)

「今こそ交渉教育の普及を」『大阪日日新聞』(なにわ発OSIPP通信) 11月1日付

**山内直人教授**「シビル・パワー：高齢者のボランティア」『日本経済新聞』10月3日付

「シビル・パワー:NPOの中間支援組織」『日本経済新聞』10月17日付

「シビル・パワー:NPOも選別の時代」『日本経済新聞』10月31日付

「シビル・パワー:韓国のNPO・NGO」『日本経済新聞』2002年11月14日付

「シビル・パワー:米国のNPO学会」『日本経済新聞』2002年11月28日付

「シビル・パワー:NPO法施行4周年」『日本経済新聞』2002年12月12日付

「シビル・パワー:NPO支援税制要件緩和」『日本経済新聞』2002年12月26日付

「大学呼び戻し都市再生を」『大阪日日新聞』(「なにわ発OSIPP通信」)12月22日付

「市民社会・NPO」『朝日現代用語・知恵蔵2003』11月

**今川拓郎助教授**「競争政策　市場過信は禁物」『大阪日日新聞』(「なにわ発OSIPP通信」) 10月11日付

人物紹介「モビリティが経済活性を促す」『経済セミナー』2002年10月号、10月

「競争政策:自由と監視のベストミックスを」『日本経済新聞』(Nikkei Net ネット時評) 11月18日付

**木戸衛一助教授**「少数派から学ぶ力」『大阪日日新聞』(「なにわ発OSIPP通信」) 10月18日付

**星野俊也助教授**「日朝関係の将来」『大阪日日新聞』「なにわ発OSIPP通信」)10月4日付

「イラク攻撃は不可避か」(10月号)、「追憶と新たな決意-1年後の『9・11』」(11月号)、「ブッシュ・ドクトリン」(12月号)、以上『グローバル・ヴィジョン』(連載中)

「書評フォーラム」(秋山昌廣『日米戦略対話が始まった』、宮坂直史『国際テロリズム論』、ジョセフ・ナイ『国際紛争』の3書をを選評)『外交フォーラム』11月号

**Robert D. Eldridge助教授**「県知事選視座　県外識者に聞く　日米と協議の場を」『琉球新報』11月2日付 (インタビュー)

“Inamine Faces Challenges of Realizing 1st-Term Objectives”, *Daily Yomiuri*, 21-Nov.

**谷口真由美 (D2)**「戒能民江著『ドメスティック・バイオレンス』」『国際女性』No. 16、12月 (書評)

### ●学会、シンポジウム、講演など●

**野村美明教授**「日本からみた対中取引」日本国際経済法学会第12回研究大会、大阪市立大学、10月 (報告)

「間接保有証券についての権利の準拠法に関するハーグ条約案の概要」第11回日韓国際私法・国際民事訴訟法共同研究会、兵庫県、10月 (報告)

**黒澤満教授**「変貌する米国の国家安全保障政策」米国総領事館国際フォーラム、大阪、10月 (コメンテーター)

「国際刑事裁判所の意義と今日的課題」大阪国際大学、大阪、11月 (講演)

「核兵器廃絶を求めるシンポジウム――核兵器の使用を許すな」原水爆禁止大阪府協議会、大阪、11月 (パネリスト)

「大量破壊兵器とイラク」米国総領事館国際フォーラム、大阪、11月 (コメンテーター)

“Issues on Disarmament and Non-Proliferation”, Center for Nonproliferation Studies, Monterey Institute of International Studies, U.S., Nov.(討論)

2002 Carnegie International Non-Proliferation Conference, Washington, D.C., Nov.(討論)

「いま日本政府の核政策を問う」非核の政府を求める会、東京、11月 (パネリスト)

「北朝鮮の核問題」核不拡散・核軍縮問題懇談会、東京、12月 (報告・討論)

「北東アジア限定的非核兵器地帯構想の意義」北東アジア地域における限定的非核兵器地帯構想会議報告会、東京、12月 (報告・討論)

**Colin McKenzie教授**「実証ファイナンスII」日本経済学会2002年度秋季大会、広島大学、10月 (座長)

奥井めぐみ氏の「情報サービス産業の雇用調整と外注化」日本経済学会2002年度秋季大会、広島大学、10月 (討論)

“Small Sample Evidence on the Impact of Generated Variables”日本経済学会2002年度秋季大会、広島大学、10月 (報告)

**高阪章教授**　Sun, Lixing, Makoto Ohta and Tatsuyoshi Miyakoshi,“Propagation of External Shocks to the Real Economy through the Banking System: Econometric Studies on Thailand, Indonesia and Korea”, 日本経済学会秋季大会、広島大学、10月 (討論)

James, William E. and Anwar Nasution,“The Debt Trap and Monetary-Fiscal Policy in Indonesia: The Gathering Storm?”, The 8th Convention of the East Asian Economic Association, Kuala Lumpur, Malaysia, Nov.(討論)

“Monetary Transmissions Immediately after the Crisis in East Asia”, The 8th Convention of the East Asian Economic Association, Kuala Lumpur, Malaysia, Nov.(報告)

“Debt Management in Developing Countries”, JCIF Workshop, Tokyo, Nov.(講演)

“Whither Japanese Economy? Economic Reform in Japan and Its Impact on Regional Economic Cooperation,”International Conference on Turning Crises into Opportunities: Some East Asian Policy Perspectives on Regional Issues, sponsored by the Japan Foundation, the Yuchengco Center and the International Studies Department of De La Salle University, Manila, Philippines, Nov.(報告)

「グローバル化と国際経済:新たな開発戦略を求めて」、第7回公開シンポジウム『経済の国際化と東アジア～「グローバリゼーション」の意味を考える～』名古屋市立大学大学院経済学研究科／附属経済研究所、名古屋市、11月(講演と討論)

「アジアの産業地図を考える」アジア太平洋人材交流センター、大阪、12月(講演)

**辻正次教授**“Innovation and Technology Transfer of the Japanese Machine Tool Industry,”1st International Conference on Business and Management Transfer 2002 (ICBMT2002), Japan Society of Mechanical Engineers, Kyoto, Oct.(報告)

“An Economic Assessment of Tele-health: The WTP Approach,”APT Conference on Mobile Communication Technology for Telemedicine and Triage. Jakarta, Indonesia, Oct.(報告)

“Innovation and Technological Management of the Japanese Telecare and Telehealth Industry,”3rd International Symposium on Management of Technology and Innovation (ICMIT2002), Hangzhou, China, Oct.(報告)

「CVMによる便益評価と費用負担分析:香川県旧寒川町の在宅

＜次ページへ＞